

公益社団法人 日本青年会議所	
関東地区 茨城ブロック協議会	
政治・防災意識向上委員会 委員長 佐藤 翔平	
現 状 分 析	市民の政治への無関心による選挙の投票率の低下や、身近で起こる自然災害の発生が問題となっているなか、一部地域では、若年層を対象にした主権者意識が向上する事業の取り組み市民の防災減災の関心が高まる取り組みなどが行われているが、現状まだ浸透していません。
目指すべき状態	<ul style="list-style-type: none"> ■有権者への政治への関心を高め、今までより選挙の投票率が向上し、住みやすい街の状態 ■若者の政治参画意識が向上し、主権者としての当事者意識をもった状態 ■地域で防災連携が構築できる基盤を作り、災害に強い地域ができる状態 ■市民が安全保障に対する問題を理解し、地域の安心安全が維持できる状態 ■メンバー一人ひとりの拡大意識が向上し、茨城ブロック協議会メンバー1000名の状態
連 携 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ■各地域における公開討論会の支援 選挙の投票率向上のために、各LOMの担当者と連携を強固にし、公開討論会の開催を支援することで、有権者の政治への関心を高めます。 ■ハイスクール議会のエリアへの開催支援、ブロックでの実施 若者に主権者としての当事者意識をもたせるために、各エリアにハイスクール議会を推進支援しその後、我々がハイスクール議会を開催することで、政治参画意識を向上します。 ■防災意識が向上する事業の実施、災害支援及び対策に関する情報発信・共有 災害に強いまちづくりを行うために、市民参加型の防災体験事業を開催し、各LOMと各種団体行政との防災協定事例を作成することで、各地域で防災連携が構築できる基盤を作ります。 ■多面的な安全保障に関する国民的議論を巻き起こす事業の開催 地域の安心安全を維持するために、国土交通省と連携協力し、災害から学ぶ実践型プログラムを実施することで、身近な日常の中にも様々な安全保障に対する問題があることを理解します。 ■会員拡大の支援 各LOMの拡大目標を達成するために、候補者でも参加して頂けるような事業を開催することで各LOMの拡大に繋がります。
S D G s	4・5・13・14・15・17
政策手法	<ul style="list-style-type: none"> ■各地域における公開討論会の支援 各LOMで開催する公開討論会が、成功するように担当者とよく擦り合わせをして、人的支援や、参考になる議案書作成のサポートをします。 ■ハイスクール議会のエリアへの開催支援、ブロックでの実施 各エリアでハイスクール議会を開催する際には、エリア担当者と綿密に打ち合わせを行い、マニュアルを配布します。その後、エリア開催をし、再度募集を集い茨城県に政策提言を行います。 ■防災意識が向上する事業の実施、災害支援及び対策に関する情報発信・共有 発災時に備え、防災士と連携し市民参加型の災害を疑似体験できるような事業を行います。また、災害が起きた時には、被災地への災害支援を行います。そして、各LOMが行政や各種団体と結んでいる防災協定事例を調査研究し、具体例を作成し、発信します。 ■多面的な安全保障に関する国民的議論を巻き起こす事業の開催 様々な安全保障の問題と異常気象から起きている災害について、国土交通省と連携して実践型プログラムを開催します。また、日本本会と連携して国民的討議会を開催します。 ■会員拡大の支援 事業開催が決定しましたら、各LOMにチラシ、ポスターを委員会メンバー自ら持参して事業を各LOMの理事会の中でPRさせていただき、そのチラシ、ポスターをメンバーの事業所に置いてもらい、広く伝播し拡大に導きます。
パ ー ト ナ ー	茨城県内各地会員会議所、日本青年会議所、関東地区協議会 各企業団体、各NPO団体 行政、消防署、自衛隊、防災士、国土交通省、茨城県、河川国道事務所、茨城県社会福祉協議会 各地社会福祉協議会、JCブランド確立委員会、組織改革推進会議